



上野公園の桜(庄原市)

会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例会 会/火 曜 日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/ 滝川 聖治 ●幹事/ 田邊 良三

2012年10月9日例会記録

12号(862)

■2012年10月16日のプログラム

会員増強委員会担当

■次のプログラム

広報委員会担当

会長挨拶 滝川会長



CD「ノラの風」

皆さん今晚は。今晚は私事で感動したお話しをいたします。

私たち夫婦は比和町で土曜日と日曜日のみの、「自宅喫茶」をしており、そのお客様達と時々自宅でコンサートもしています。

今年も7月初めに庄原ロータリークラブにもお呼びしたことのあある二人組みのボーカルグループの「竹弦」さんを自宅にお招きして、コンサートを行いました。

20数名のお客様と歌を聞きながら、飲んだり、食べたりして、楽しいひとときを過ごしました。コンサートが終わる頃になって、最後の曲として突然、「野良の風」を歌ってくれました。歌う前に、この曲は彼らが私らと何度か会った際、私たち夫婦の生き方に共感を覚えて、作詞、作曲されたと言う説明をされました。

この曲を初めて聴いたとき、本当に私たち夫婦は胸にジーンと来て感動いたしました。うまく表現が出来ませんが鳥肌が立つくらい喜びました。短期間の出会いで、よくこのような詞が書け、曲が作れる物だと感心しました。

自分たちのことなので恐縮しますが、その詞の内容をちょっと紹介しますと、「青春の日々は儚く（はかなく）消えても、重ねた季節の彩りは煌めいていて、老いてゆくのは悲しい事じゃない。瞳に映した風は何時だって真新しい。移りゆく景色はあの頃より何故か綺麗で眩しくて。笑いながらいつも寄り添って、今日も明日もずっと口ずさみながら、風になって歌うように生きていこう。悲しみさえそっと拭う野良の風。」こんな感じの内容です。

先日サプライズがありました。竹弦さんがこの曲のCDをわざわざ作って送って来られました。またまた感激して二人で聞き入りました。店を開けている時はこの曲をBGMとしてかけています。

人と人の出会いは不思議です。彼らはまさしく「人のためになること」をしてくれました。竹弦さん有り難う。

以上で会長の時間を終わります。

奉仕を通じて平和を

2012～2013年度RI会長

田中作次

幹事報告

1. 大之木ガバナーより、2012～13年度 東日本復興支援のお願い
2. 認定NPO 法人国連 WFP 協会より、「WFP サヘル干ばつ緊急募金へのご協力のお願い」
3. 例会終了後、理事・役員会がありますので宜しくお願いします。

出席報告

会員数 36名 出席者 33名 MU 3名
欠席者 0名 出席率 100%

スマイル報告

市川会員・・・山内ブランド米作り。美味しいお米が沢山採れました。
先週の草刈ありがとうございました。

石原会員・・・今日は天気も良く、会長杯ゴルフコンペご苦労様でした。
スコアは平凡ですが、1つバーディーがあり良かったです。

伊藤慎二会員・・・週刊朝日に、日本の名医として載りました。ロータリー
の皆さんに教えて頂くまで私も知りませんでした。

垣内会員・・・都合主義ですみません。農作業が一応終わりお礼申します。

住田会員・・・本日よりプログラム委員会選手交代します。
お世話になりました。感謝！

滝川会員・・・先日の草刈皆様ご苦労様でした。

武田会員・・・10月6日息子のところに初めての子が誕生しました。
7月8日大阪の孫の運動会へ出掛けてきました。
孫々で忙しい休みでした。

豊浦会員・・・早くもガバナー補佐の研修が始まりました。

中原会員・・・日曜日にナバ採りに近くの山に行きました。毒ナバ1本
しかなく、足が痛くなりくたびれもうけでした。

中間会員・・・やっと涼しくなりました。9月分のスマイルです。
遅れてすみません。

藤本会員・・・会長杯優勝しました。ありがとうございました。

山口会員・・・高原の家七塚キャンプ場の草刈大変お世話になり、有難う
ございました。

第37回庄原 RC 会長杯

H24. 10. 9 (火)

優勝 藤本会員

準優勝 伊藤真澄会員

3位 田邊会員

■親睦委員会

和泉委員長

10月2日(火) 高原の家七塚草刈&バーベキューパーティーにご協力、ご参加大変ありがとうございました。収支報告書ができておりますので回覧致します。ご確認ください。

■お知らせ&お礼

10月21日(日) 第13回庄原こどもミュージカル「オズの魔法使い」を上演致します。
先週はサングリーン、今週はジョイフルと丘陵公園にて、ミュージカルの宣伝とチケットの販売に行ってきました。当クラブでも沢山のチケット販売にご協力頂き本当にありがとうございました。

田中作次

職業奉仕委員会担当



話卓員會

職業奉仕委員長 赤木忠徳

本年度、職業奉仕委員会では、我々の職業を頑張ることで社会に貢献することは、もちろんであります。地域、特に児童、生徒と深く関わることにしております。

これまでも、職業体験を受け入れておられる企業はありますが、学校側サイドでは、昨年度までのデータによって、生徒を振り分けています。そこで、本日は、新たなデータを作成の為アンケートを実施いたします。

また、今年度は、出前授業も実施いたします。この事についても、アンケートに記入してください。現在の職業はもとより、これまで経験をして来たことを生徒にお話をして頂きたいのであります。出前授業の主題と担当者名のリストを、教育委員会を通して各学校に提示し、希望に従って担当者が学校と相談のうえ、授業を行う仕組みであります。一覧表にして各学校に配布していきたいと考えております。

それでは、出前授業の先駆的なロータリーを紹介いたします。豊中RCであります。豊中RCはすでに、2001年から実施し、2001~2010 年度の 10 年間に 222 回の授業を豊中 RC の会員や他クラブ の会員で行い、2003 年地区大会で、小学校・中学校への出前授 業活動に対してガバナー特別賞を受賞し、国際ロータリー2660 地区職業奉仕委員会でも、2003 年度より出前授業を 10 年計画のプロジェクトとして採りあげています。学校、特に小学校では、授業での学習内容が子供の家庭で保護者や家族に伝えられ、さらに、地域社会にも影響を及ぼす。従って、出前授業によって子供たちだけでなく、その家族や地域社会の人々 にも何かを伝えることが可能になるのであります。

出前授業の意義と目標は、自分の将来の専門が未だ明確でない義務教育の中で、日ごろ先生からはあまり聞くことのない専門家の話を出前授業で聞いて、「世の中には自分達がまったく知らなかったこんなに面白いこともあったのか」と驚き、感激し、心を振るわせ、それを通していろいろな分野の専門家の生き様を垣間見ることは、自分の将来の道を考える大きなきっかけとなるのであります。たとえ、専門性の高い、生徒にとっては難解な話であっても、「難しいけれど面白そう」という感覚を持ち、これから勉強して分かる様になるまで頭の中にしまっておこうと思うのが、出前授業を受けた生徒の特徴的な反応である。通常の授業の場合は、分からないことはすぐに忘れてしまうのであります。

